

平成30年度第2回和泉市総合教育会議

日時：平成30年11月 8日（木）

午後3時30分から

場所：3号館3階市議会委員会室

次 第

1 議事

テーマ：学校の教育力向上をめざした「教職員の働き方改革・支援策」について

(1) これまでの議論について

(2) 支援施策（案）について

(3) 今後の予定について

2 その他

これまでの総合教育会議での議論について

●平成 29 年度 第 1 回 3 月

- ・ 様々な新しい教育が学校現場に求められ、業務の多様化が進んでいることから、授業の準備、子どもと向き合う時間、研修の時間の確保が困難になっている。
- ・ 学校現場における働き方改革が国でも議論されている。

⇒ 今後の総合教育会議でのテーマとして、

和泉市の学校の教育力の向上をめざして、
「(仮称)教職員働き方改革・支援策」を考えることとする。

●平成 30 年度 第 1 回 8 月

1) 教職員対象アンケート結果を報告

順位	小学校		中学校	
	項目	回答数	項目	回答数
1	調査・統計への回答	150	部活動	33
2	学校行事等の準備・運営	145	調査・統計への回答	22
3	授業準備	96	学校徴収金の徴収・管理	17
4	学校徴収金の徴収・管理	93	放課後見回り・補導対応	14
5	登下校に関する対応	81	生徒指導	12

2) アンケート結果に基づき考えられる「改善に向けた取組み」に関する事務局案を提示

- ① (仮称)スクールサポートスタッフの配置
- ② メッセージ電話の設置
- ③ 学校行事の見直し・効率化
- ④ 部活動の見直し
- ⑤ 調査・統計等、研修の見直し
- ⑥ 学校閉庁日の設定
- ⑦ 勤務時間管理システムの導入

3)平成 30 年 8 月開催 第 1 回 総合教育会議での市長、教育長、教育委員の主な意見

- ・学校まかせでなく、保護者の意識もかえることが重要。
 - ・教育基本法改正の主旨に基づき、「学校・家庭・地域」の役割分担が必要。
 - ・メッセージ電話の導入は、学校への依存軽減が期待できる。
-
- ・学校行事や部活動などについては、ダイナミックな改革が必要。
 - ・子ども議会に関する負担が大きいように感じる。
 - ・運動会などでは、日常の積み重ねを披瀝する場にするなどの改善の余地がある。
 - ・部活動指導については、休養日を設定するなど市としての取り組みを進めていますが、今後様々な視点の検討が必要なので、別途検討内容とすべき。
-
- ・(仮称)スクールサポートスタッフは、時間をもてあまさないよう、業務の整理必要。
 - ・学校現場への調査については、不要なものがないか、再度精査が必要。
-
- ・残務整理などで土日に出勤することが好ましくないことを教職員も認識すべき。
 - ・教職員自身も意識改革が必要。
 - ・教職員の気持ちに余裕がなくなると、子どものサインを見落とす懸念が心配。
-
- ・学校現場に、市・教育委員会の本気度を伝えるためにも、スピード感が重要。
 - ・新たな制度を導入するのであれば、導入費用の精査も必要。

和泉市の学校の教育力の向上をめざして、今後展開していく「教職員働き方改革・支援策」(案)

資料 2

番号	取組項目	導入(予定)時期	取組内容	期待される効果	備考
1	スクールサポートスタッフの配置	平成 31 年度 (人材確保次第)	<p>【配置イメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学校に週3日～5日、週当たり12時間程度活動してもらえるスタッフを配置 <p>【主な想定業務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で使うプリント、宿題や学年だよりなどの印刷 ・授業での ICT 機材、理科実験器具の準備・片付け ・電話のとりつぎ、ホームページの更新 ・調査統計作業、データ入力 ・運動会、文化祭等学校行事の準備、片付け ・ポスターなど学校掲示作業支援 ・特別教室、印刷室の整理 ・学校徴収金管理支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果で上位にあった調査統計、学校徴収金、授業準備等教員の負担軽減 ・休み時間等における子ども達と向き合う時間の確保 ・円滑な授業遂行 	<p>継続的に予算が必要。</p> <p>人的配置になるので、予算は、一定額必要。</p>
2	放課後・休日における学校への電話に対するメッセージ電話対応の導入	平成 31 年 9 月実施	<p>【メッセージ対応の時間帯イメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日18(19)時～翌日8時、休日は 24 時間 ・長期休業期間等も必要に応じて設定 ・学校行事等に併せて弾力的に設定 ・音声発信のみ。録音機能なし <p>【緊急時の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教委への電話対応のうえ、学校管理職へ連絡、対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校まかせとならない、保護者、地域への理解促進 ・時間外勤務が必要な場合における集中できる環境確保 	<p>導入時には、経費必要。</p>
3	市主催行事の見直し・効率化	随時実施	<p>【学校主催の行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における廃止を含めた見直し精査を要請 <p>【市主催の行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の行事など、運営のあり方を中心に見直し <ul style="list-style-type: none"> ・水泳記録会(小) ・陸上競技会(小) ・連合音楽会(小・中) ・子ども議会(小・中) ・子ども絵画展(小・中) ・平成 30 年度より陸上競技会の設営、当日の駐車場整理について、外部委託を実施。 ・大学ボランティアの導入など負担軽減方法を継続検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果にも表れていた教職員負担の軽減 ・放課後等での子ども達と向き合う時間の確保 ・見直し等に伴う、他授業の機会の確保 	<p>廃止には、経費伴わない</p> <p>外部委託等の場合、一定の経費必要</p>

番号	取組項目	導入(予定)時期	取組内容	期待される効果	備考
4	部活動の見直し	一部実施 別途協議	<p>【一部実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休養日の確保(週1日) ・市ガイドラインの策定に向けた取組み <p>【別途協議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当面は、ノークラブデー、外部指導員の登用等を検討 ・全体的な見地でのあり方を検討していく 	—	—
5	調査・統計等、研修の見直し	随時実施	<p>【調査・統計等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールサポートスタッフの配置による事務軽減 ・メッセージ電話導入に伴う集中できる環境確保 ・共有ファイル等の設定による提出方法の改善 ・学校検診(身長・体重測定)の年間実施回数の精査 ・負担感を軽減するわかりやすい調査結果の周知 <p>【研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のビデオ撮影によるビデオカンファレンスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果にも表れていた教職員負担の軽減 ・放課後等での子ども達と向き合う時間の確保 	—
6	学校閉庁日の設定	既実施	<p>【平成30年度夏休み実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月13日(月)～15日(水)の3日間実施。 ・指導室への問合せ、混乱等なし <p>【感想、出勤状況、今後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年休とりやすいとの評判 ・年休等の取得依頼について解消望む声あり ・水やり、部活動による出勤教職員あり ・閉庁日の継続、日数の拡大を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの促進 ・勤務時間に対する意識改革、業務効率化 	—
7	勤務時間管理システムの導入	既実施 平成30年 10月	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エクセルシートに個人が入力し、翌月、管理職が集計、指導室へ提出 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既導入のシステムアップグレードにより、PCの起動、終了で出退勤の判断可能となり、その状況も提出不要で指導室にて閲覧可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職負担軽減 ・勤務時間に対する意識改革、業務効率化 	—